

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 24 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		ごみ減量事業(ダンボールコンポスト)			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連													
総合 計画 体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	市民部	課長名 松永 公明													
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクル		所属課	環境衛生課	担当者名 橋本 武和													
	基本事業	21	ごみの発生抑制		所属班	環境衛生班	(内線) 1143													
予算科目					会計	1	款	4	項	2	目	1	事業連番	11287	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	1	コスト削減優先度評価結果	12
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度			年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~		年度)									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)																				
【事業の内容】 可燃ごみの減量化のため、ダンボールコンポストに取り組んでもらうきっかけをつくる(モニター事業の展開)																				
【業務の流れ】 広報誌等による周知、ダンボールコンポスト説明会及びフォローアップ講習会の開催、モニター募集、資材配布、アンケート集計																				
【主な予算費目】 職員手当等、需用費																				

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ダンボールコンポスト説明会及びフォローアップ講習会を開催した モニター募集を行いダンボールコンポストを配布した アンケートを実施し集計した モニター申請者数 460人 広報周知やダンボールコンポスト説明会を行い事業の周知を図った	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ ⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア ダンボールコンポストに取り組んだ世帯数 → イ 世帯
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 世帯 → イ 世帯
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ごみを減らしてもらう	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 可燃ごみの量 → イ kg
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ごみを出さないようにする	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア ごみの減量に取り組んでいる世帯の割合 → イ %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 目 標 計 画 数 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円			568	514	488	500		500
	(A) 事業費計	千円		0	568	514	488	500	500		
	人 件 費	うち指定経費	千円								
			うち時間外、特殊勤務手当	千円							
		正規職員従事人数	人			7	7	7	7		7
延べ業務時間		時間			528	528	528	528	528		
(B)人件費計	千円		0	2,101	2,101	2,101	2,101	2,101			
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	2,669	2,615	2,589	2,601	2,601			
活動指標	ア 世帯 → イ			500	460	600	600	600			
対象指標	ア 世帯 → イ			19950	19974	20200	20400	20600			
成果指標	ア kg → イ			11400000	11333810	11300000	11200000	11100000			
上位成果指標	ア % → イ			77	79.7	80	81	82			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
人口の増加等によりごみの量が増加し、東部清掃工場の処理能力を平成32年頃には上回る見込みである。新しく処理施設を建設するためには多大な費用がかかるためごみの量を減らすことにより施設の延命化を図る
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
人口は今後も増加する見込みであり、ごみの量は増える。モニターとして実施した人が継続することによりごみの減量化が出来る
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
実践している人々から「手軽にできて、臭いや虫も少ないので取り組みやすい」との意見があった

事務事業名	ごみ減量事業(ダンボールコンポスト)	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ダンボールコンポストにより堆肥を作るので、ごみの排出量が減り、ごみの発生抑制という政策に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 一般廃棄物の処理は市町村の事務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市で処理をするのは一般廃棄物であるので、各家庭を対象とした。ダンボールコンポストで堆肥を作り、ごみの排出量が減るのでごみの減量を減らしてもらうことを意図とした。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ モニターとして実施した世帯が継続して実施することによりごみの減量ができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ダンボールコンポストを始めようと思われる方のきっかけ作りとしての事業であり、廃止した場合影響あり。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ごみの減量化が目的のため、生ごみ処理容器購入助成事業との統合を検討する。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 勤務時間外の説明会のため削減は難しい。 モニター用の資材のため削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 説明会は2人で行っており削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ごみ袋の購入費は不用となるが、生ごみを常に管理しておく必要があり、2回目以降については自己負担となるので公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、モニターとして実施した世帯が継続して実施することによりごみの減量が出る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ごみの減量化が目的のため、生ごみ処理容器購入助成事業との統合を検討する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	○																	
	維持																		
	低下																		

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 ごみの減量化が目的のため、生ごみ処理容器購入助成事業との統合を検討する。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	1	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)